



▲太い木を切断するときはチェーンソーを使います。



◀伸びた枝を切り、バランスを見ながら形を整えます。



【庭木剪定】
増子 三郎さん
(77歳)

若い時から自宅の植木の手入れをしたり、職場の周辺に桜を植える活動に参加したりと、木の世話が好きでした。定年後、趣味も兼ねて剪定の仕事を始め、11年目になりました。冬場を除いた晴れた日のほとんどは作業をしています。元気で働けることが何よりです。きれいに仕上がった庭木を見ると、すっきりして気持ちいいですよ。

はつらつシニアの働く現場レポート

シルバー人材センター会員の2人にお話を聞きました。



▲豪華絢爛な曳山の歴史や特徴などを、分かりやすく説明しています。



▲調べた歴史文化などをまとめ、資料を作成します。

全国からの来訪者に、曳山や小松の文化を伝えています。利常公が築いた小松の歴史を勉強していますが、知れば知るほど面白いです。「小松ってこんな町だったんですね」と新たな発見を導き出せたとき、やりがいを感じます。祭りのエネルギーを次世代につなげる小松の曳山は、ほかと違った魅力があります。その価値を多くの人に広めていきたいです。



【曳山交流館みよっさ受付】
元田 建治さん (73歳)

シルバーパワーで地域を元気に

Let's はつらつ就労

問い合わせ シルバー人材センター ☎47・2855
長寿介護課 ☎24・8053

▲「オープンから1年が経ち、リピーターも増え、やりがいを感じています」。抜群のチームワークで、お客様においしい料理とすてきな笑顔を届けている「ビュッフェこまつせせらぎ」スタッフの皆さん。

豊富な経験を生かして社会に貢献

日本全体で少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少している一方、健康寿命の延伸により元気な高齢者が増えています。その中には、定年などで現役を引退した後も何らかの形で働き続けたいという、意欲を持った人がたくさんいます。

これまで培ってきた知識や経験、技能を生かしてシルバー世代が働くことは、収入を得る手段となるだけではなく、自身の生きがいにもつながります。

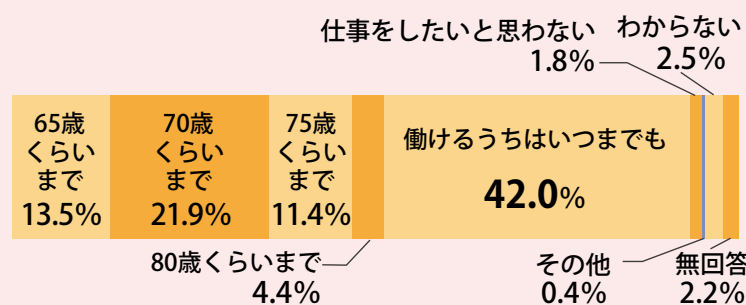
また、人手の確保や技術の伝承など、地域社会や企業にとって大きな力となるほか、子育てや介護の分野での活躍も期待されています。

じきじきと働き、人生をはつらつ

長寿化が進むということは、何かにチャレンジする時間が増え、やりたいことができる機会が巡ってきたということです。多くのシニアの皆さんが様々な職場で活躍し、生きがいづくりや仲間づくりを楽しんでいます。

人生100年時代を迎える中、豊かで充実した次のステージを送るために、皆さんのスキルを生かして自分らしく働いてみませんか。

あなたは何歳まで収入を伴う仕事をしたいですか。



資料：内閣府「高齢者の日常生活に関する意識調査」(平成26年)
調査対象は全国60歳以上の男女。現在仕事をしている人のみ集計。

現在仕事をしている高齢者の約4割が「働けるうちはいつまでも」働きたいと回答。70歳くらいまでもしくはそれ以上の回答と合計すれば、約8割が高齢期にも高い就業意欲を持っている様子がうかがえます。

高齢者の「働きたい」を応援

シルバー人材センターでは、健康で働く機会が欲しいという会員に、臨時的で短期的な仕事、軽易で高齢者に向けた仕事を紹介しています。会員を随時募集中。

シニア向け講習会

仕事に生かせる技術を身につけませんか。

◎介護(公共)施設クリーニング講習会

とき 6月5日(火)～8日(金)

10時～15時(全4回)

ところ 義経アリーナ(末広体育館)

◎公園施設管理講習会

とき 6月18日(月)～22日(金)

9時～16時(全5回)

ところ 義経アリーナ(末広体育館)

◎介護施設調理補助講習会

とき 7月23日(月)～25日(水)

10時～15時(全3回)

ところ こまつドーム

対象 いずれも60歳以上の人

定員 各10人(先着順)

参加費 いずれも無料

申し込み 初回開催日の2週間前

までに、シルバー人材センター

☎47・2855